

# あいち農産物生産流通レポート

平成26年2月号

情報サロン		
・守口大根が世界一長い大根に認定されました！	(園芸農産課) .....	1
地域トピックス		
・愛西産ミニトマトを使った、ミニトマトソースを作りました！！	(海部農林水産事務所) .....	2
東日本情報		
・国内産麦の需要拡大を図るイベントが開催されました	(東京事務所) .....	3
西日本情報		
・「地産地消・農商工連携ビジネスフェア」を開催しました	(食育推進課) .....	5
フラワーページ		
・千葉県産花きの首都圏での販売促進活動	(千葉県生産販売課 首都圏マーケティングセンター) .....	6
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場) .....		7
・名古屋・東京市場における青果物の2月の見通し .....		8
花 き		
・切花・鉢花の2月の見通し(県内市場) .....		20
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2013年11月).....		24
関連指数 .....		25

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

## 守口大根が世界一長い大根に認定されました！

守口大根は、愛知県扶桑町と岐阜市で生産されており、扶桑町の出荷量は平成24年産で276tと全体の64%を占め、あいちの伝統野菜に選定されています。守口大根は、収穫後、塩漬され、酒粕に何度も漬け替えられ、2年以上かけて守口漬ができあがります。

世界記録挑戦イベントの開催に向けて

守口大根は、世界一長い大根と言われてきましたが、実は世界一を証明できる公式な記録はありませんでした。そこで、守口漬のメーカーが所属する公益社団法人愛知県漬物協会は、創立60周年を迎える今年度、守口大根の産地や地域社会への感謝の気持ちを込めて、守口大根が世界一長い大根に挑戦するイベントを企画しました。世界一の記録を認定する組織に記録挑戦を申請し、扶桑町の生産者、役場や農協と協力してイベントを開催することとなりました。

思わぬ障壁が立ちはだかる

世界一長い大根の記録は存在していませんでしたが、イベントの準備を始めた矢先、記録を認定する組織から、これ以上の長さでなければ世界記録には認定されないという「標準記録」が180cmであると知らされたのです。

近年、守口大根は、消費者が購入しやすいサイズの守口漬とするため、長さが100～120cmに揃うように採種用の母本を選抜してきました。したがって、180cmに到底届かないことは明らかでした。このため、生産者は、特に根が深く伸びるほ場を選定し、高畝で株間を広げるなど、様々な工夫をして記録挑戦のための栽培に取り組みました。

記録挑戦の結果と今後に向けて

記録挑戦イベントは、平成25年11月23日、扶桑町北部グラウンドとイベント用に準備したほ場で行いました。このイベントを守口大根に親んでもらう絶好の機会ととらえ、一般参加者を公募しました。晴天に恵まれたこの日、扶桑町内の小学生の家族を中心に166名が参加し、汗だくになってたくさんの守口大根を引き抜き、各自の一番長い大根で記録挑戦に臨みました。



一般参加者の抜き取りの様子

大根の測定の結果、一般参加者では180cm以上のものはありませんでした。しかし、自慢の大根を持ち込んだ生産者の中で、扶桑町の後藤雅次氏の守口大根が、191.7cmと、大根の長さで初めての世界記録に認定されたのです。苦心して栽培、収穫した努力が実り、歴史的な瞬間を迎えることができました。

地元扶桑町では、小中学生が地域学習等で守口大根や守口漬について学んでいます。今回の世界記録認定をきっかけに、子どもたちが地域産業や食への関心を一層高め、地域を誇りに思う人材が育っていくと期待されます。

「和食」の無形文化遺産登録や今回の世界記録認定を励みに、地元や国内をはじめ世界に向けて、生産者も漬物メーカーも、より一層守口大根と守口漬の情報発信に励んでいこうと意気込んでいます。



世界記録認定証授与

## 愛西産ミニトマトを使った、ミニトマトソースを作りました！！

海部農林水産事務所は、平成23年6月に策定した「食と緑の基本計画2015海部地域推進プラン」で、「生産者と消費者の思いを伝える農林水産業の推進」を施策に掲げ、農商工連携や6次産業化に積極的な生産者の取り組みを支援しています。

これまでに、地域の特産物であるイチゴ（ゆめのか）を使ったケーキ開発やミニトマトを使った加工品開発などの取り組みを支援し、商品化を実現しました。

平成25年度は、JAあいち海部のよつえ生産部会（ミニトマト生産者組織）とコーミ（株）、蟹江町の栄養教諭が連携して、部会のオリジナルブランド「旬桃輝（しゅんとき）」を使った学校給食用ミニトマトソースを開発しました。

この取り組みは、生産者の「安全・安心で美味しいミニトマトを、地域の子供達に知ってもらいたい、食べてもらいたい。」という“思い”と、栄養教諭の「海部地域産の農産物を食材とした美味しい学校給食を子供達に提供したい。」という“思い”、コーミ（株）の「愛知県産の美味しいミニトマトを使った加工品を開発したい。」という“思い”が一つになり実現しました。



開発したミニトマトソースは、平成26年1月の「知ろう・食べよう 郷土の食」をテーマにした蟹江町の学校給食週間の給食で使用しました。

### 【ミニトマトソースを使った学校給食】

平成26年1月21日、蟹江町内小中学校（7校）の児童・生徒の給食約3,600食分に使用しました。

献立は、「あいさいのプチトマトソースかけソフト麺」です。

給食の時間に生産者の“思い”などを栄養教諭から児童にお話していただきました。



プチ  
トマト  
ソース  
かけ  
ソフト  
麺

平成26年度にはミニトマトソースを商品化し、海部地域及び県内の教育委員会や給食会にセールスする計画です。

## 国内産麦の需要拡大を図るイベントが 開催されました

企業や国などが一体となって食料自給率のアップを目指す取り組みとして、「フードアクションニッポン（FAN）」が展開されているところですが、これに関連して、平成2



5年度から農林水産省は「日本の食を広げるプロジェクト（のうち消費拡大全国展開事業）」に取り組んでいます。この事業の一環として1月22日（水）に「日本の麦の底力」～こだわりのうまみ、素材のつよみ～と題したイベントが東京プリンスホテルガーデンアイランドにおいて一般社団法人「全国米麦改良協会」の主催で開催されましたので紹介します。

### 開催概要

この催しは、食品（今回は麦）の消費拡大を支援するとともに、個々の品目の特性や優位性を組み合わせて相乗効果をねらい、国内産農産物の全国的な消費拡大を図るものです。今回は国内産麦の優れた特性を生かした麺やパン等を、一般消費者やラーメン、うどん及びパン等の販売店オーナーなどの方々に試食してもらい、日本の麦が持っている素晴らしい特性を知っていただき、国内産麦の需要拡大を図るというものです。

国内産麦を使ったラーメン、うどん、パンの味比べ

会場には、全国から有名ラーメン店、うどん店、パン屋の販売ブース

等が設けられ、国産麦を使用した商品は通常のハーフサイズ程度のもので、300円～400円程度で販売され、どれもおいしそうなものばかりでした。訪れた方々は2種類、3種類のラーメンなどを食べ比べ国内産麦を魅力を堪能していました。

筑豊ラーメン山小屋（福岡）さんの豚骨ラーメンの麺は、福岡県産の「ラー麦」を使用

### 「イベント内容」

南北ラーメン名店の味を食べ比べ

北海道  
札幌ラーメン武蔵（札幌）、らーめん極み（苫小牧）、伝説の塩さいじょう（旭川）、望月製麺所直営ラーメン鉄平（室蘭）

福岡県  
天然とんこつラーメン（福岡）、筑豊ラーメン山小屋（福岡）、とんこつラーメン博多三氣（福岡）

全国ご当地うどん食べ比べ

本格手打ちうどん香川屋本店（香川）、おおみねのうどん屋さん（香川）、ひもかわうどんのおっ切り込み（群馬）、伊勢うどん（三重）、近江うどん（滋賀）

パン、スイーツ、麦茶などの試食試飲

乾麺などの即売会

したもので「もちもち」した麺でおいしくいただきました。



福岡県産の「ラー麦」を使用した豚骨ラーメン（300円）

### 商談会

出店ブースでは、一般消費者ではなくラーメン屋さんのオーナー、小売店のバイヤーなどが訪れると展示商品の魅力を積極的にPRするなど商談も各ブースで行われていました。本県からも尾張製粉（半田市）さんがブース出展していましたので東京営業所長の斉藤さん（写真）にお話を伺いました。今回は「全国製粉協議会」からの誘いで出展したとのことで、愛知県産小麦（イワイノダイチ、農林61号）を使用した高級乾麺（そうめん、ひやむぎ）を超特価で販売していました。お客さんの反応も上々だそうで、国内産に対する関心の高さを実感したとのことでした。東京でも尾張製麺の各種麺類を購入することができるそうで、主に百貨店等に卸しているとのことでした。



愛知県から出展の尾張製粉(株)斉藤所長

### 愛知の新品種「きぬあかり」を発見

「製粉協会」のブースで、愛知県の農業総合試験場が開発した新品種「きぬあかり」を見つけました。「イワイノダイチ」、「農林61号」とともに紹介されていました。担当の人にお話を聞いたところ今回の展示はこの現物だけで、商品化されたものはまだ見たことはないとのことでした。

首都圏では、このようなイベントが多く行われます。これらもこのような動き、他県動向などを積極的に取材していきたいと思えます。



新品種「きぬあかり」(左上)

## 「地産地消・農商工連携ビジネスフェア」を開催しました

農林漁業者や食品製造事業者などが、県産農林水産物やその加工品を展示し、流通関係者等との商談や参加者相互の情報交換を行ない、新商品の開発や新たな販路の開拓に取り組む「地産地消・農商工連携ビジネスフェア」を、平成26年2月3日(月)に名古屋市中区のアイリス愛知で開催しました。

また、「農林水産物等輸出促進セミナー」では、平成25年11月に香港において開催した「愛知フェア in 香港」の取組等を紹介しました。

フェアには、82の企業・団体が出展し、会場は約700名の参加者でにぎわいました。



展示会場内の様子

### 【 内 容 】

#### 1 展示会

##### (1) 県産農林水産物

米、トマト、ミニトマト、いちご、グレープフルーツ、食用菊、食用サボテン、牛乳、鶏卵、うずら卵、等

##### (2) 県産農林水産物の加工食品

畜産加工品(名古屋コーチン製品、ウインナー、チーズ)、海苔、豆腐、佃煮、漬物、味噌、みりん、清酒、茶、菓子、麺類等



農林水産物(いちご)展示の様子

#### 2 出展者による商品等のプレゼンテーション

新たな連携先の開拓を目指して、10企業が自社の取組や商品の紹介を行いました。

#### 3 農林水産物等輸出促進セミナー

##### (1) 報告

ア 「『愛知フェア in 香港』の成果」

イ 「『愛知フェア in 香港』に出展して得たもの」

(株)南山園 営業企画室長 富田晋介 氏

JA あいち海部 販売企画課 比屋根健 氏

ウ 「『シンガポールマーケティング調査』結果」

##### (2) 講演

「アセアン諸国等への食品輸出の取組み」

(独)中小企業基盤整備機構 シニアバイザー 高橋薫 氏



加工食品(ウインナー)展示の様子

フェアの開催に当たっては、事前に出展者と参加者に商談先の意向を聞き、その情報を提供しており、各ブースにおいて、熱心に情報交換や商談が行われました。

## 千葉県産花きの首都圏での販売促進活動

千葉県は温暖な気候と消費地に近いという立地を活かして、全国有数の花き生産地となっています。首都圏マーケティングセンターでは、この千葉の花を売り込むために、様々な活動を展開しています。

その中で、首都圏で実施している主な販売促進活動事例について御紹介します。

### 1 ヒマワリフェア

千葉県の主要品目であるヒマワリの販売促進を図るために、毎年5月下旬～6月上旬に産地や流通・小売業者と連携して、首都圏の専門店で「ヒマワリフェア」を開催しています。本年度は9店舗で実施し、産地で作っている様々な品種を一堂に集めての展示販売や、生産者による販売応援を行いました。

今回で4年目となる取組ですが、来店客の中には毎年楽しみにしているという人もみられるなど、認知度が高まっています。



### 2 湿地性カラー3県合同販売促進活動

千葉県は愛知県、熊本県と並ぶ湿地性カラーの数少ない生産地の1つです。このカラーの需要拡大、販売促進を図るために、ホワイトデーのお返しへの利用を呼びかける「ホワイトデーキャンペーン」を、毎年2月下旬～3月上旬に、主産3県の産地や関係者と合同で実施しています。

3年目となる昨年度は、「ホワイトデーはカラーを贈る日」を合言葉に、東京都中央卸売市場の大田、板橋、世田谷市場でのPR活動のほか、銀座ソニービルでのカラーの展示・配布や「フラワーウォーク」などを実施し、利用拡大を呼びかけました。本年度も3月3日～3月6日に3県合同での販売促進活動を実施する予定です。



大田市場での展示PR



銀座でのフラワーウォーク

## 愛 知 産 青 果 物 の 動 向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

### 名古屋市中央卸売市場（品目：ブロッコリー）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
25年実績	589	255 (43%)	269	242	鳥取 (21%) 和歌山 (18%) 高知 (5%)
26年見通し	580	-	280	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>県内の主な産地は田原市、豊橋市、名古屋市（大高）。11月から前年を下回る気温で、今後も低温が予想されるが、産地が比較的温暖な地域であるため積雪の影響は少ない。生育は例年と比べるとやや遅れ気味であるが、前年と比べると順調である。                      入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込みである。</p>			<p>鳥取や九州の産地では作付面積を増やしているが、全国的に見るとほぼ横這いである。以前はピクセル（早生品種）が主流であったが、気候や生産地域の変化で年々新たな品種が生まれている。                      ブロッコリーは人気商材であり、認知度も高いため、量販店で特売の提案をすれば荷動きは活発になる。</p>		

### 東京都中央卸売市場（品目：ブロッコリー）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
25年実績	2,685	1,218 (45%)	274	256	埼玉 (13%) 香川 (10%) 中国 (9%)
26年見通し	2,800	1,300	250	250	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>この時期の入荷は愛知が約半分近くを占め、次いで年内出荷が主力である埼玉が続く。愛知は11月の冷え込み以来、遅れ傾向であったがここにきて遅れていたものが出荷され量的には回復している。2月に入ると出荷大幅増も見込まれる。他産地も同様の傾向である。米国产、中国産は減少する。                      入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>			<p>ブロッコリーは栄養価の高い食材で、2月に入るとサラダ需要の高まりもあり、量販店にとっても目玉商品となる商材である。                      産地側から数量の増減の最新情報を迅速、的確に伝えていただくと、増量してきたとき売り込みがかけやすくなるので、今までにもまして、安定した数量とより正確な出荷情報をお願いしたい。</p>		



名古屋・東京市場における青果物の2月の見通し

名古屋市中央卸売市場

1月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地(%) (愛知産比率)			
				上旬	中旬	下旬	
野菜計	21年	34,624	179	186	178	171	愛知 29%
	22年	31,242	217	217	221	212	北海道 20%
	23年	29,898	230	229	238	231	鹿児島 7%
	24年	32,169	237	233	231	246	静岡 6%
	25年	31,304	202	220	194	196	
	5ヵ年平均	31,847	213	-	-	-	
	26年見通し	29,300	223	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、北海道からの入荷が中心となる。天候の影響から、全体的に小玉傾向であり、出荷数も少なくなる見込み。価格は引き続き高値で推移する見込みである。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
だいこん	21年	2,068	63	67	58	66	静岡 56%
	22年	1,867	85	85	88	81	徳島 22%
	23年	1,864	89	88	99	79	鹿児島 9%
	24年	2,131	106	99	112	110	神奈川 6%
	25年	1,651	94	109	88	90	
	5ヵ年平均	1,916	87	89	89	85	
	26年見通し	1,900	90	90	90	90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
静岡からの入荷が中心となる。9月の台風の影響で生育は遅れ気味ではあるが、回復傾向にある。徳島、鹿児島も気温の上昇とともに回復し、出荷量は増加してくる見込み。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。							
にんじん	21年	2,387	95	96	93	98	愛知 84%
	22年	2,260	72	71	71	75	鹿児島 12%
	23年	2,140	136	126	142	144	熊本 2%
	24年	2,017	124	115	128	134	長崎 1%
	25年	1,984	125	118	127	135	
	5ヵ年平均	2,158	109	104	111	116	
	26年見通し	2,000	125	115	120	130	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知からの入荷が中心となる。肥大は順調に進んでおり、入荷量は平年並みとなる見通しである。九州の産地については、残量は少なめで、価格は強めで推移する見込みである。入荷量、価格とも前年並みの見込み。							

東京都中央卸売市場

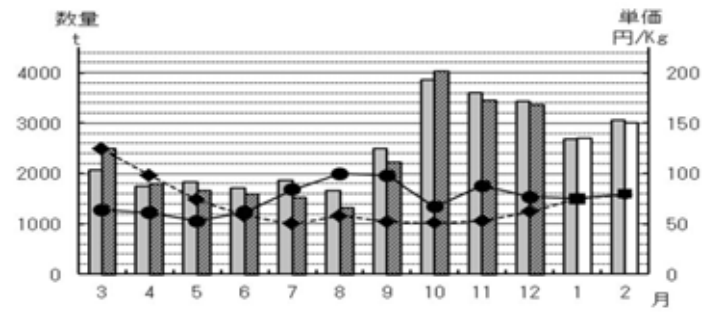
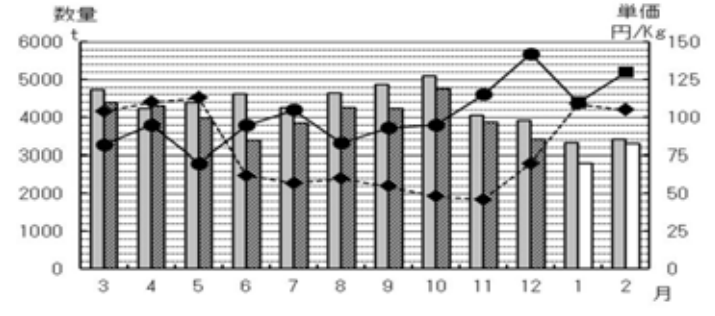
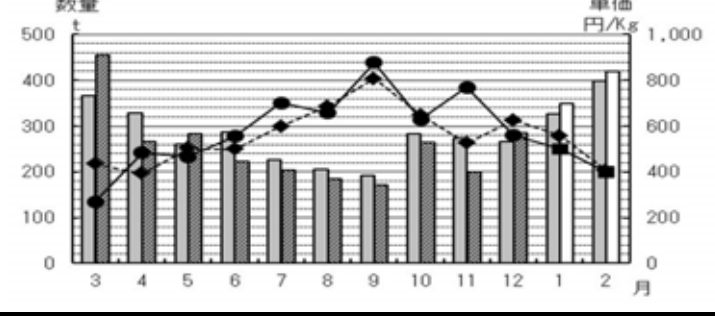
1月29日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	21年	124,154	205	213	197	204	千葉 16%
	22年	116,832	241	235	248	241	茨城 13%
	23年	117,364	240	239	245	237	北海道 11%
	24年	123,066	257	248	250	274	愛知 10%
	25年	119,361	222	232	210	225	(愛知産比率 10%)
	5ヵ年平均	120,155	233	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	123,000	225	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心で、果菜類は西南暖地が増え、土物類は北海道からの入荷となる。秋からの台風や低温乾燥の影響を受け野菜全般高値基調で1月を迎えたが、ここに来て好天も多く回復してきている。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並の見込み。</p>							
だいこん	21年	12,120	68	73	64	66	神奈川 59%
	22年	11,631	99	94	111	89	千葉 27%
	23年	11,574	87	85	100	76	徳島 6%
	24年	11,593	120	110	127	125	鹿児島 4%
	25年	11,672	100	110	94	96	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	11,718	95	94	99	90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	11,500	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心となる。神奈川、千葉の各産地ともに年明けの低温少雨による小ぶりの仕上がり、出荷量は自ずと少なくなる。徳島は2月下旬より順調な出荷となる。 入荷量は前年並が予想され、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
にんじん	21年	6,930	113	120	107	111	千葉 75%
	22年	6,940	83	74	86	93	埼玉 7%
	23年	6,408	164	158	174	162	茨城 5%
	24年	6,935	122	114	123	132	鹿児島 5%
	25年	6,329	135	136	132	136	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	6,708	123	120	123	126	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	6,200	140	130	140	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>前月に続き千葉、埼玉などの関東産地からの入荷が中心となる。千葉は寒さの影響で初期生育から作柄は良くなく出荷量は前年を下回る。埼玉はほぼ順調な出荷が期待できる。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							

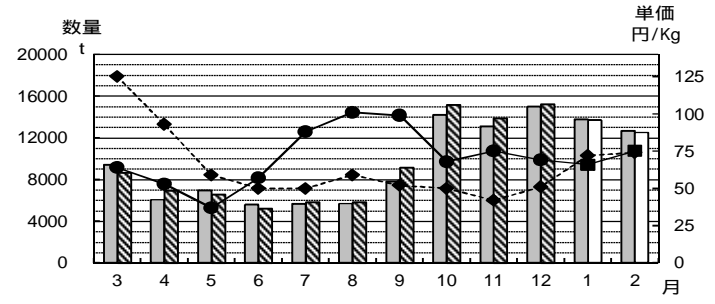
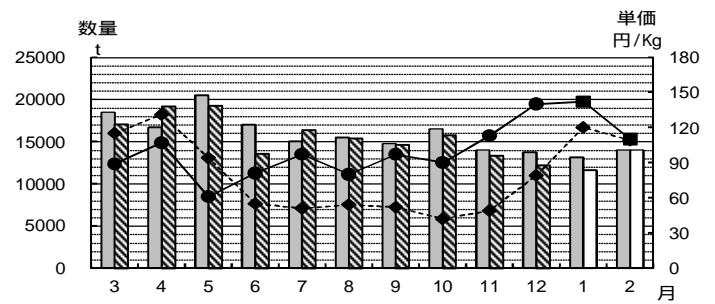
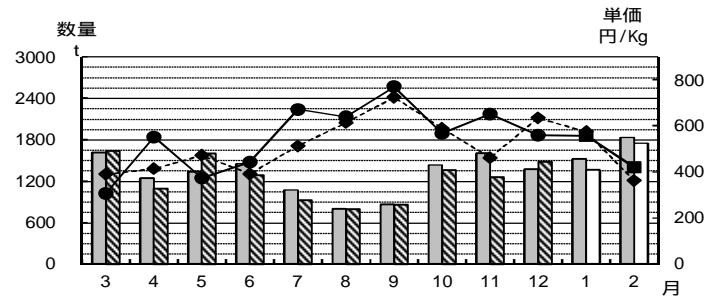
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほう き さい	21年	2,780	79	77	78	83	愛知 36% 兵庫 29% 茨城 22%
	22年	2,930	70	68	75	67	
	23年	2,900	78	68	85	86	
	24年	3,237	85	77	88	95	
	25年	3,058	79	75	80	85	
	5ヵ年平均	2,981	78	73	81	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	3,000	80	80	80	80		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		主な産地は愛知で兵庫、茨城が続く。愛知は天候の影響から小玉傾向で、例年より少なくなる見込み。兵庫も天候の影響から作況は遅れ気味。九州の春物も出荷が遅れ気味である。 入荷量、価格とも前年並みの見込み。					
キャ ベ ツ	21年	3,236	86	86	80	92	愛知 96% 鹿児島 2% 茨城 1%
	22年	2,910	111	108	114	111	
	23年	2,877	129	126	135	125	
	24年	3,402	141	145	132	148	
	25年	3,420	105	115	94	110	
	5ヵ年平均	3,169	114	116	110	117	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	3,300	130	140	130	120		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		ほぼ愛知からの入荷となる。生育不良から小玉傾向であり、出荷量もあまり多くない見込みである。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。					
ほう れ ん そ う	21年	527	241	267	199	268	愛知 78% 茨城 5% 群馬 4% 徳島 3%
	22年	471	401	441	387	360	
	23年	439	398	488	405	314	
	24年	341	542	593	580	511	
	25年	398	406	431	380	452	
	5ヵ年平均	435	385	430	374	369	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	420	400	500	400	300		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		愛知からの入荷が中心となる。播種時期の遅れで年内の出荷が少なかったが、蒔き直しされているので、2月以降には気温の上昇とともに出荷される見込みである。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほう き さい	21年	11,563	62	46	62	85	茨城 60%
	22年	12,369	55	48	68	46	群馬 19%
	23年	12,562	68	57	79	71	兵庫 13%
	24年	13,409	74	61	72	92	埼玉 3%
	25年	12,660	74	72	74	75	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	12,513	67	57	71	74	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	12,500	75	80	75	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
茨城と群馬からの入荷が中心となる。茨城の生育は、台風の影響と低温で本年も肥大が鈍く小玉傾向、群馬も同様の傾向である。兵庫は今年は順調で潤沢な出荷が期待できる。 入荷量、価格ともに前年並の見込み。							
キャ ベ ツ	21年	14,368	88	86	81	100	愛知 63%
	22年	13,475	116	114	118	116	千葉 16%
	23年	13,583	128	134	130	120	神奈川 14%
	24年	15,072	139	135	128	154	茨城 2%
	25年	14,005	109	117	95	115	(愛知産比率 63%)
	5ヵ年平均	14,101	116	117	110	121	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	14,000	110	120	110	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知と千葉、神奈川からの入荷が中心。愛知の生育は少雨と冷え込みの中ではあるが、生育は概ね順調で平年並の出荷が見込まれる。千葉、神奈川は現況、少なめだが回復傾向。 入荷量は前年並を見込み、価格についても前年並が見込まれる。							
ほう れ ん そ う	21年	1,900	289	286	265	332	群馬 27%
	22年	1,756	425	421	479	366	茨城 22%
	23年	1,820	413	502	419	327	千葉 22%
	24年	1,484	514	634	498	421	埼玉 20%
	25年	1,831	362	386	310	398	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,758	395	437	388	367	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,750	420	440	420	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
前月に引き続き関東産地からの入荷が大部分を占める。昨年同様、現況は各産地とも生育は寒波の影響で一部がやや遅れぎみであるが、2月は今後の天候にもよるが暖かい日が続けば数量も回復してくる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る。							

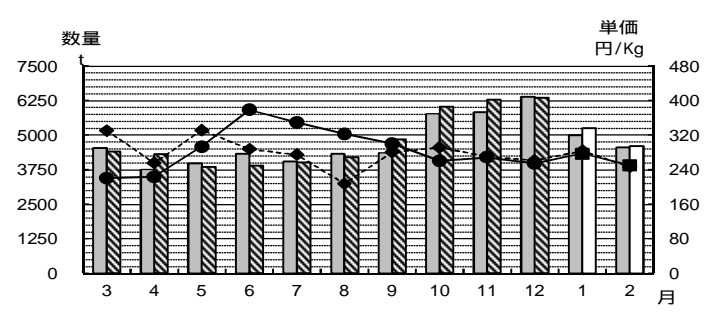
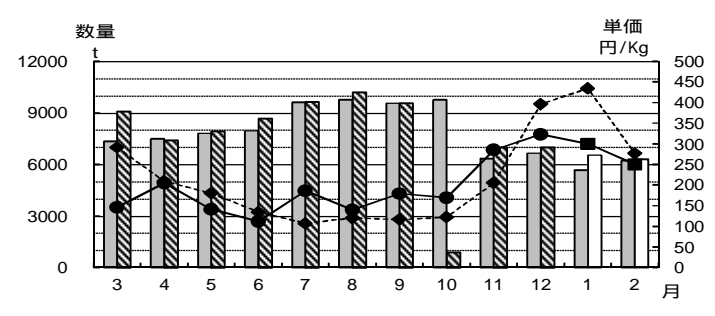
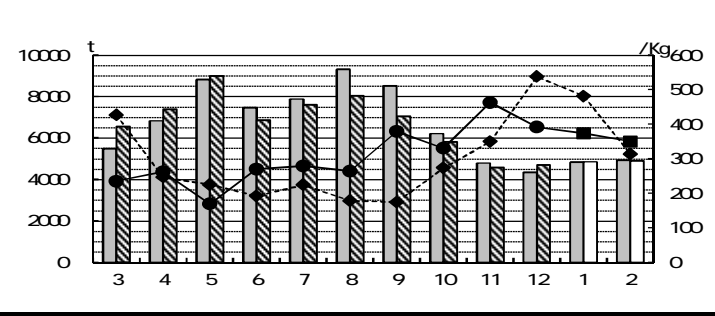
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	21年	999	290	306	279	283	愛知 21%
	22年	980	378	352	425	355	大分 21%
	23年	856	423	401	444	433	静岡 17%
	24年	945	411	437	432	385	鳥取 8%
	25年	916	329	339	321	343	
	5カ年平均	939	365	366	379	358	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	950	325	350	330	300	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>長ねぎは愛知からの入荷が中心となる。出荷量は増加してくるが、作付面積が減っているため、あまり大きくは増えない。白ねぎは静岡、大分を中心に入荷。太めのものが多く、かなり出荷量は増える見込みである。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
しそ	21年	1,737	181	190	173	181	兵庫 45%
	22年	1,463	252	251	255	248	愛知 18%
	23年	1,211	303	343	312	255	静岡 16%
	24年	1,130	417	384	403	475	熊本 12%
	25年	1,378	292	358	252	269	
	5カ年平均	1,384	278	295	268	274	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,300	300	300	300	300	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>主な産地は兵庫、静岡、愛知、熊本。兵庫、静岡は昨年末までの生育が悪く、高値で推移しているが、2月も状況はあまり変わらない見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
きゅうり	21年	1,197	314	369	263	327	愛知 54%
	22年	1,076	372	371	355	395	宮崎 19%
	23年	1,076	372	326	305	313	高知 16%
	24年	1,088	422	432	390	456	鹿児島 12%
	25年	1,168	298	320	227	328	
	5カ年平均	1,121	354	363	306	363	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,150	360	380	360	340	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>愛知、西南暖地からの入荷が中心となる。各産地とも順調な出荷が見込まれる。価格については、2月上旬は節分(恵方巻き)需要のため高値で推移するが、中下旬になれば落ち着いてくる見込みである。 入荷量は前年並み、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	21年	4,891	173	190	154	175	千葉 41%
	22年	4,389	333	279	414	304	埼玉 24%
	23年	4,369	303	272	340	306	茨城 11%
	24年	4,800	279	252	281	313	群馬 10%
	25年	4,599	265	241	237	261	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,610	269	246	282	270	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	4,600	250	250	250		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		前月に続き関東産地からの入荷が中心となる。千葉の生育は、台風の影響を引きずっていたがここに来て平年作に回復してきている。他の関東産地は概ね生育順調。入荷量は前年並を見込み、価格は前年をやや下回る見込み。					
しそ	21年	7,859	174	187	160	177	静岡 33%
	22年	6,764	244	246	247	237	香川 12%
	23年	6,348	275	325	280	219	茨城 11%
	24年	6,221	377	359	363	414	兵庫 11%
	25年	6,208	278	355	231	246	(愛知産比率 3%)
	5ヵ年平均	6,680	265	288	251	254	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	6,300	250	250	250		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		前月に続き静岡と香川中心の入荷となる。香川を中心とした西南暖地産は、年明けから比較的天候に恵まれ概ね順調な出荷が見込まれる。静岡も中旬以降、増量され昨年以上の出荷量となる。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。					
きゅうり	21年	4,955	350	413	306	340	宮崎 28%
	22年	4,618	397	378	394	434	千葉 21%
	23年	4,939	334	338	333	331	高知 15%
	24年	4,836	435	439	398	466	群馬 14%
	25年	4,932	313	325	283	332	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,856	365	378	342	380	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	4,900	350	370	360	320	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		前月に続き西南暖地と関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも低温少雨の影響から遅れが見られる。その中で関東産地は、2月中旬以降は出荷量が増えてくる見込み。入荷量は前年並が見込まれ、価格は安値で推移した前年をかなり上回る見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	21年	539	319	364	296	298	熊本 51%
	22年	474	384	400	383	369	愛知 44%
	23年	542	343	349	339	340	高知 4%
	24年	472	383	400	386	374	岐阜 0%
	25年	429	371	408	365	355	
	5ヵ年平均	491	358	382	352	345	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	450	375	400	380	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知からの入荷が中心となる。低温が続き、ハウスの温度が上がらないので、数は少なくなり、価格は上昇していく見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
ト マ ト	21年	884	310	319	302	310	熊本 49%
	22年	866	352	377	340	338	愛知 29%
	23年	896	296	271	296	329	三重 13%
	24年	853	436	364	397	564	岐阜 6%
	25年	829	379	343	374	429	
	5ヵ年平均	866	354	334	341	392	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	840	340	350	340	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は熊本、愛知、三重、岐阜。加温効果もあり、順調な出荷が見込まれる。熊本は一部産地がメロンの転作などにより出荷が増える見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	21年	206	689	736	668	662	熊本 57%
	22年	244	685	707	659	688	愛知 28%
	23年	237	687	676	696	691	和歌山 11%
	24年	248	850	778	798	1,016	
	25年	285	739	741	745	744	
	5ヵ年平均	244	732	728	716	764	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	250	700	700	700	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知からの入荷が中心で、若干和歌山、宮崎からも入荷。年末から年明けにかけて一気に出荷され、2月は成り疲れ、着色不良により出荷減となる見込み。気温が低く、重油の高騰の影響もある。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	21年	2,240	378	442	341	358	高知 59%
	22年	1,825	445	490	437	404	福岡 20%
	23年	2,033	404	387	398	429	熊本 7%
	24年	2,137	445	429	460	450	佐賀 6%
	25年	1,975	413	420	394	425	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	2,042	416	433	405	413	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,000	420	430	410		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き西南暖地からの入荷が中心となる。高知を中心とする西南暖地は低温少雨の影響で生育のペースは鈍いものの、着果状態は良い。2月の出荷量はほぼ前年並が見込まれる。 入荷量、価格ともに前年並となる見込み。</p>					
ト マ ト	21年	4,954	359	369	344	366	熊本 34%
	22年	4,722	398	412	391	389	栃木 17%
	23年	5,105	333	317	327	357	愛知 13%
	24年	4,697	474	400	446	596	宮崎 5%
	25年	4,723	409	378	394	457	(愛知産比率 13%)
	5ヵ年平均	4,840	393	374	379	431	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	4,700	380	390	380	370	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、栃木からの入荷が中心となる。熊本の生育はほぼ順調にきている。栃木も病害虫の発生もなく着果も良好。愛知は着果量に不足はないものの、大きな増量もない。状況に差異はあるものの概ね良好。 入荷量は前年並を見込み、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	21年	875	670	756	628	619	熊本 36%
	22年	929	680	693	659	692	愛知 23%
	23年	954	672	656	682	681	宮崎 11%
	24年	964	886	807	816	1,067	千葉 10%
	25年	1,089	756	752	763	754	(愛知産比率 23%)
	5ヵ年平均	962	735	733	713	766	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	960	720	740	720	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き熊本、愛知からの入荷が中心となる。愛知は冷え込みの影響もあり出荷量はやや少ない見込み。熊本は作付増ではあるものの着果量は少ない。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					



名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	21年	363	695	816	665	608	宮崎 44% 鹿児島 40% 高知 16%
	22年	346	723	775	694	701	
	23年	362	623	643	619	608	
	24年	338	790	812	713	814	
	25年	378	652	734	640	615	
マン	5カ年平均	357	695	755	665	666	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	360	690	750	700	620	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		鹿児島、宮崎、高知の西南暖地から入荷。2月上旬は冷え込みの影響で出荷減となるが、中下旬にかけて増量し、価格も平年並みとなる見込み。 入荷量は前年をやや下回る見込みで、価格は前年をやや上回る見込み。					
ばれいしょ	21年	3,471	105	115	104	97	鹿児島 41% 北海道 40% 長崎 18%
	22年	2,894	136	126	137	151	
	23年	2,622	168	153	169	187	
	24年	2,921	138	135	142	135	
	25年	2,642	106	105	107	107	
いしょ	5カ年平均	2,910	129	126	130	133	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,600	120	120	120	120	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		北海道、鹿児島、長崎から入荷。北海道は貯蔵ものが計画出荷される。鹿児島の生育は順調であり、大玉傾向となる見込み。長崎の抑制ものは生育は平年並みで、2月中下旬にかけて終了する。離島ものも順調にきており、中旬頃から本格的な出荷が始まる見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。					
たまねぎ	21年	5,947	68	66	75	64	北海道 93% 静岡 5% 中国 1% 愛知 1%
	22年	4,641	115	122	118	102	
	23年	3,980	129	134	138	116	
	24年	5,205	94	95	98	101	
	25年	5,497	86	92	91	87	
ねぎ	5カ年平均	5,054	96	99	101	92	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	4,000	120	120	120	120	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		北海道からの入荷が中心となる。国産は小玉傾向であり、価格も高いことからアメリカ産の輸入ものが増加しつつある。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	21年	1,155	733	845	709	643	宮崎 44%
	22年	1,134	732	768	703	723	高知 21%
	23年	1,251	634	661	622	617	茨城 18%
	24年	1,217	800	822	695	862	鹿児島 16%
	25年	1,227	654	765	608	597	(愛知産比率 -%)
マン	5カ年平均	1,197	710	771	666	688	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,200	680	660	680	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地と茨城からの入荷が中心となる。西南暖地、茨城ともに若干の生育遅れはあるものの着果状況はまずまずでコンスタントな出荷が見込める。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	21年	7,982	108	109	108	108	北海道 56%
	22年	7,624	140	134	138	155	鹿児島 24%
	23年	7,855	156	147	159	166	長崎 19%
	24年	8,735	124	119	126	127	
	25年	8,239	94	98	95	90	(愛知産比率 -%)
いしょ	5カ年平均	8,087	124	121	125	129	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	8,300	110	110	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、鹿児島、長崎からの入荷が中心となる。北海道は貯蔵量は市況次第の出荷となる。小玉が多いが量的には前年並みの出荷が期待できる。九州産も生育順調。 入荷量は前年並が見込まれ、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	21年	9,457	87	84	90	88	北海道 87%
	22年	8,051	145	143	145	150	静岡 10%
	23年	8,437	143	142	143	145	中国 2%
	24年	10,208	100	96	102	105	タイ 1%
	25年	9,453	98	92	99	103	(愛知産比率 0%)
ねぎ	5カ年平均	9,121	113	109	114	116	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	8,500	130	130	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>春先まで北海道中心の入荷が続く。北海道は需要に合わせた計画出荷体制となるが、今年是不作できており絶対量が少ない。静岡は少雨傾向ではあるものの低温の影響で生育は概ね良好。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	21年	10,922	315	313	316	316	青森 20%
	22年	10,825	293	291	287	305	静岡 16%
	23年	9,400	364	354	365	341	フィリピン 14%
	24年	9,083	374	356	370	397	愛知 13%
	25年	8,942	344	324	339	362	
	5カ年平均	9,834	336	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	8,800	340	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>主な産地は青森、静岡、愛知。かんきつ、りんご、いちごなどが入荷する。りんごは中国向けの輸出が一段落し、引合いは強くなる見込み。キウイは大玉傾向で、高値で推移している。 入荷量、価格とも前年並みの見込み。</p>							
かんきつ	21年	4,875	228	236	234	215	静岡 34%
	22年	5,422	191	198	186	195	愛媛 18%
	23年	4,082	302	296	317	300	愛知 15%
	24年	4,606	259	263	262	256	和歌山 8%
	25年	4,123	237	228	237	247	
	5カ年平均	4,621	240	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	4,200	240	240	240	240	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>静岡からはみかん中心の入荷。三ケ日は出荷調整しており、2月にずれ込む見込み。愛媛からはいよかん、せとか、はるみ、甘平等が入荷。作況はあまり良くないが、玉が大きいので、量としては多めに出る見込みである。 入荷量、価格とも前年並みの見込み。</p>							
いちご	21年	1,194	1,003	1,101	957	956	愛知 51%
	22年	1,099	1,027	1,038	1,004	1,045	熊本 26%
	23年	1,186	1,021	1,129	1,002	945	鹿児島 8%
	24年	793	1,418	1,443	1,418	1,385	三重 5%
	25年	985	1,137	1,129	1,109	1,174	
	5カ年平均	1,051	1,100	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,050	1,050	1,100	1,100	1,000	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>主な産地は愛知、熊本。2番果のピークを迎え、各産地とも順調な出荷が見込まれる。平年並みの数量となる見込み。宣伝会なども目白押しで、活発な動きが期待される。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実	21年	39,363	335	330	339	335	静岡 20%
	22年	41,283	312	297	316	332	青森 17%
	23年	34,582	400	392	403	408	愛媛 15%
	24年	38,389	382	356	386	414	フィリピン 7%
	25年	36,838	357	344	359	369	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	38,091	356	-	-	-	前年及び本年の
	26年見通し	37,000	390	-	-	-	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>りんご、いちご中心にいよかん、不知火などの晩柑類の入荷が本格化する。いよかんは酸抜けよく出荷がやや早く上旬から潤沢となる。不知火は肥大もよく良好である。みかん類は「青島」、「寿太郎」をはじめ総じて仕上がりはいい。入荷量は前年並み、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
りんご	21年	7,537	201	198	202	205	青森 96%
	22年	6,886	224	220	226	231	長野 2%
	23年	6,309	232	234	232	230	秋田 1%
	24年	5,434	351	341	353	361	岩手 1%
	25年	6,594	241	244	242	237	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	6,552	245	243	246	248	前年及び本年の
	26年見通し	6,100	310	300	340	340	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森から「ふじ」の貯蔵もの中心に「王林」「ジョナ」などが入荷する。「ふじ」について産地在庫は前年の90%ほどあり、40玉を中心に連日出荷となる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
いちご	21年	4,314	1,103	1,190	1,059	1,065	栃木 40%
	22年	4,331	1,124	1,058	1,145	1,197	福岡 16%
	23年	4,756	1,068	1,119	1,084	1,005	茨城 12%
	24年	3,491	1,378	1,392	1,385	1,359	佐賀 11%
	25年	4,229	1,152	1,152	1,126	1,181	(愛知産比率 2%)
	5ヵ年平均	4,224	1,155	1,173	1,150	1,150	前年及び本年の
	26年見通し	4,400	1,200	1,300	1,250	1,200	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木中心に福岡、佐賀などから入荷。年明け以降は入荷も増えた。栃木は低温で遅れて1月は少なかったが、2月は順調な出荷が見込まれる。福岡、佐賀は低温で中旬以降まで少ない状況となる。入荷量は前年をやや上回り、価格も前年をやや上回る見込み。</p>					

## 切花・鉢花の2月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 1月27日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ く	実 績	21年	2,247	48	
		22年	1,979	54	
		23年	1,701	47	
		24年	1,649	58	
		25年	1,476	57	
	5ヶ年平均		1,810	53	
	26年見通し		1,600	55	
概要	愛知、沖縄、三重等から入荷。燃油の高止まりに加え、寒い日が続く、あまり大きな山はなく推移する。業務中心に動きはあるが、寒さによっては店売りの状況は重く、上位等級と下位等級では価格差も大きくなる。				
小 ぎ く	実 績	21年	1,234	35	
		22年	1,117	31	
		23年	1,121	32	
		24年	1,134	34	
		25年	1,120	24	
	5ヶ年平均		1,145	31	
	26年見通し		1,200	30	
概要	沖縄中心に入荷。昨年は後半、出荷量も多くかなり低迷したことから、今年の作付は昨年よりも抑えたものとなっている。出荷量はあまり多くなく、堅調な動きになると思われるが、1月のように低温続きで店売りが重いと引き続き軟調な展開も予想される。				
カ ー ネ ー シ ョ ン	実 績	21年	1,204	35	
		22年	1,060	38	
		23年	1,036	38	
		24年	1,037	41	
		25年	1,017	37	
	5ヶ年平均		1,071	38	
	26年見通し		1,050	40	
概要	愛知を中心に和歌山、長野から入荷。年内にそこそこ出荷があったため、初市こそ量があったが、2月は冷え込みにより、燃油の問題もあり大きな山はないと思われる。他の花の状況にもよるが、引合いが強い展開となろう。				
か す み 草 う	実 績	21年	274	43	
		22年	191	63	
		23年	167	61	
		24年	167	83	
		25年	162	67	
	5ヶ年平均		192	61	
	26年見通し		180	65	
概要	高知、和歌山、熊本から入荷。業務中心に中旬以降はバレンタイン、桃の節句、卒業式等一般需要もあり、堅調となろう。ただし、低温傾向にあり、雪等天候が気になり。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	21年	277	180	
		22年	232	197	
		23年	257	187	
		24年	249	224	
		25年	286	169	
	5ヶ年平均		260	190	
	26年見通し		290	170	
概要	高知、埼玉、愛知、静岡中心に入荷。1月の遅れた分が2月前半ぐらいになりそうで、数量も増え、高値が続いた販売から平年並みの相場に戻ると思われる。業務中心の動きの中、中旬以降は一般需要も増える。鉄砲、LAゆりは出荷も少なく、堅調な動き。				
洋 ら ん	実績	21年	365	73	
		22年	324	80	
		23年	464	61	
		24年	390	91	
		25年	424	69	
	5ヶ年平均		393	74	
	26年見通し		425	70	
概要	高知、徳島、愛知、宮崎等と輸入物が入荷。天候の長期予想では平年並みか低い気温で推移するものと予想される。燃料代が高止まりする状況なので、しばらくは少なめの入荷が続くものと考えられる。中旬ごろまでは強持合いの展開となろう。				
ば ら	実績	21年	763	79	
		22年	748	86	
		23年	691	82	
		24年	696	93	
		25年	663	87	
	5ヶ年平均		712	85	
	26年見通し		670	85	
概要	愛知、三重、岐阜、和歌山等から入荷。前半はフラワーバレンタインによる動き、後半は日柄に恵まれているので、堅調な需要が見込まれる。しかし、これからの出荷は10~11月の惰性で出していた1月とは違い、燃油高の影響がでるため、出荷量には不透明さがある。				
枝 も の	実績	21年	1,514	40	
		22年	1,367	46	
		23年	1,500	48	
		24年	1,893	42	
		25年	1,719	42	
	5ヶ年平均		1,599	43	
	26年見通し		1,750	42	
概要	促成物が長野中心に、浜松からはコデマリや花桃が多く入荷する。1月の寒さの影響もあり、需要は伸び悩んだが、2月も気温が低いと動きは鈍化しそうだ。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
工 力	実 績	21年	14,227	197	
		22年	13,857	218	
		23年	14,438	234	
		24年	11,286	192	
		25年	13,241	185	
	5ヶ年平均		13,410	206	
	26年見通し		13,000	185	
概要	<p>入荷量は昨年よりわずかに減少か。昨年同様に4号以下のポット物がメインとなる。発色の良い物は単価面でも期待できるが、色の薄い物は厳しいと予想される。                      昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位新潟(42.3%)、2位静岡(13.3%)、3位埼玉(12.9%)となっている。</p>				
プ ラ ム	実 績	21年	364,342	93	
		22年	314,227	87	
		23年	270,668	114	
		24年	265,746	98	
		25年	314,984	87	
	5ヶ年平均		305,993	95	
	26年見通し		310,000	87	
概要	<p>入荷量は減少か。苗の入りが非常に少ないため、ジュリアン、ポリアンサ共に減少と予想。                      昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(39.2%)、2位埼玉(14.0%)、3位奈良(12.1%)となっている。</p>				
チ ュ ー リ ッ プ	実 績	21年	72,720	152	
		22年	71,483	156	
		23年	64,271	184	
		24年	45,676	195	
		25年	39,457	159	
	5ヶ年平均		58,721	168	
	26年見通し		39,000	159	
概要	<p>今年は球根の出来が悪かったため、大幅に生産量が減る見込み。数量が激減するため、各サイズ、引合いが非常に強くなると思われる。特に4号、5号で600円から800円のピンク、赤、黄は強くなるだろう。                      昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(38.2%)、2位埼玉(19.4%)、3位長野(16.2%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	21年	69,462	237	
		22年	65,202	273	
		23年	76,930	254	
		24年	63,779	260	
		25年	75,566	228	
	5ヶ年平均		70,188	250	
	26年見通し		75,000	227	
概要	<p>生産数量は例年通り。入荷量は昨年並みの予想だが卒業、卒園の集中する月末頃は4寸中心に品薄となりそう。            昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位埼玉(22.2%)、2位愛知(20.4%)、3位三重(11.0%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	21年	65,335	134	
		22年	65,220	164	
		23年	60,020	169	
		24年	52,085	154	
		25年	55,728	151	
	5ヶ年平均		59,678	154	
	26年見通し		55,000	145	
概要	<p>生産数量、入荷数量とも昨年と変わらないが、寒さに弱い品種の開花遅れから2月中の品種バリエーションが減るかもしれない。単価は市場の冷え込みから軟調が予想される。            昨年2月の主要県の集荷実績は金額ベースのシェアで1位岐阜(27.9%)、2位静岡(24.8%)、3位愛知(22.1%)となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	21年	42,917	733	
		22年	35,521	813	
		23年	38,127	680	
		24年	30,768	779	
		25年	30,684	846	
	5ヶ年平均		35,603	765	
	26年見通し		20,000	650	
概要	<p>重油の高騰含め情勢が厳しいため、春先に温度が焚けておらず、今年は全体的に見て良品が少ないと思われる。出荷数量も少なく、単価は昨年を下回る見込み。            昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(45.6%)、2位宮崎(10.9%)、3位高知(9.2%)となっている。</p>				



# 主要農林水産物の輸出入実績(2013年)

## 1 輸入実績

品名	1						1 1 月 まで の 累 計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	64,811	110	7,637,074	109	118	98	700,262	87	85,068,087	69	121	79
トマト	862	101	359,424	103	417	102	7,789	135	2,991,845	150	384	111
たまねぎ	31,006	127	1,481,741	122	48	96	265,592	83	14,736,847	111	55	134
にんにく	1,351	95	206,687	82	153	87	16,833	92	3,132,611	112	186	122
ねぎ	4,725	105	556,698	144	118	137	49,986	105	5,646,638	105	113	100
ブロッコリー	1,587	63	383,414	106	242	168	33,185	73	6,619,238	98	199	135
結球キャベツ	2,406	517	95,112	790	40	153	24,361	75	937,882	79	38	105
にんじん・かぶ	6,720	136	353,716	196	53	144	72,867	94	4,005,033	111	55	119
ごぼう	4,089	99	320,515	181	78	183	36,245	82	2,196,814	100	61	122
えんどう	96	128	36,350	161	378	126	1,627	70	578,605	71	356	102
アスパラガス	1,271	89	969,814	101	763	114	10,345	72	6,271,654	90	606	125
まつたけ	112	80	458,763	109	4,084	137	1,220	87	5,834,421	105	4,782	121
しいたけ	440	87	166,710	112	379	128	3,073	83	1,096,241	91	357	110
かぼちゃ	4,649	63	376,772	72	81	114	91,932	85	7,042,675	98	77	116
果実(生鮮・乾燥)	130,056	90	22,461,047	119	173	133	1,660,472	91	241,496,645	112	145	122
バナナ	76,013	91	5,843,731	114	77	126	905,072	89	74,192,202	112	82	126
パイナップル	13,988	104	926,869	113	66	108	165,091	104	10,324,262	108	63	104
レモン	3,859	81	833,247	143	216	176	45,466	89	6,651,741	119	146	134
オレンジ	2,996	59	363,673	72	121	123	107,596	85	11,889,121	98	110	115
グレープフルーツ	5,363	61	697,897	73	130	119	117,371	85	11,520,433	93	98	110
メロン	1,870	100	236,202	127	126	127	30,860	111	3,264,742	118	106	106
ぶどう	3,813	121	1,162,803	131	305	109	20,853	104	5,375,115	120	258	116
キウイ	2,498	56	2,005,953	107	803	190	57,834	90	19,444,302	89	336	98
いちご	433	85	419,943	97	969	114	3,432	102	3,291,736	119	959	117
切花(生鮮・乾燥)	3,493	97	2,945,627	109	843	113	41,402	99	33,115,264	108	800	108
鳥獣肉類	152,514	96	70,236,527	105	461	109	1,645,682	98	774,992,859	107	471	109
牛肉(くず肉含む)	49,141	120	23,087,481	126	470	105	496,518	104	245,600,271	120	495	116
豚肉(くず肉含む)	61,856	97	32,719,423	97	529	101	675,418	94	356,370,930	94	528	101
鶏肉	33,751	73	8,100,077	83	240	114	378,286	94	100,323,394	112	265	119
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	157,053	98	103,548,699	114	659	117	1,543,106	92	945,719,024	100	613	109
まぐろ類	16,027	103	12,003,349	114	749	110	187,386	93	153,827,310	92	821	99
さば・さんま・あじ・いわし	13,452	141	2,978,633	172	221	122	61,420	87	12,399,777	92	202	106

## 2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	4,868	161	1,670,180	197	343	123	20,000	183	7,802,630	180	390	98
うんしゅうみかん	1,270	120	201,157	159	158	133	2,661	120	469,985	152	177	127
りんご	3,339	196	1,302,569	221	390	113	13,178	237	4,638,756	221	352	93
なし	32	49	19,520	58	608	118	1,142	117	559,957	120	490	102
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	294,403	151	-	-	-	-	2,786,056	127	-	-
緑茶	322	176	659,399	170	2,046	97	2,660	126	5,993,257	133	2,253	106

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

# 関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成22年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	25年 7月	100.0	94.1	98.1	99.2	101.6
	8月	100.3	92.3	101.5	99.5	103.3
	9月	100.6	102.9	94.6	100.0	107.9
	10月	100.7	103.3	92.5	100.3	105.0
	11月	100.8	103.9	96.7	100.7	104.9
	愛知県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0
25年 7月	100.0	99.3	98.4	100.2	105.9	
8月	100.3	94.7	106.1	99.4	104.8	
9月	100.5	104.2	98.3	99.5	109.0	
10月	100.5	107.1	93.0	100.3	105.2	
11月	100.6	106.8	96.0	100.9	105.6	

項目 年月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	25年 7月	102.4	113.3	98.3	102.0	108.2
	8月	97.1	111.9	82.4	91.3	108.8
	9月	102.9	106.0	107.8	78.8	110.2
	10月	96.2	102.7	91.9	71.7	110.6
	11月	107.2	102.0	115.7	97.8	113.7

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」  
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシカ り」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
24年平均	2,112	147	178	629	457	297	160	350	229	558	665	165	564
25年 7月	2,230	80	131	616	362	247	157	322	214	473	708	187	
8月	2,158	130	231	746	343	330	158	394	222	454	577	161	
9月	2,123	140	217	664	459	378	190	361	251	639	656	161	
10月	2,131	168	201	608	479	324	209	365	256	622	776	164	
11月	2,131	175	184	581	597	314	196	384	248	798	779	158	478
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g	1 本	100g	100g	100g	100g
24年平均	582	283	352	177	211	805	534	153	168	306	225	797	398
25年 7月	513	286	340		209	781	516	148	161	297	213	804	375
8月		273	358		211	771	559	167	181	307	223	754	421
9月	638	262	385		204	803	557	162	171	316	229	808	420
10月	485	267	356		217	781	557	156	171	312	233	812	397
11月	488	272	352		214	751	522	159	183	332	227	851	393

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



## いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 488  
平成26年2月発行  
農林水産部食育推進課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6421